

# 森林 レンジャー がゆく

(23)

## 2年間を振り返って

私たちが活動を始めて5月で3年目に突入します。

これまでの活動の主なものとして、地域と協働で行う森づくりがあります。今では14地区18か所に拡大しており、整備された地区ではハイカーが徐々に増えています。また、地域の方から、森のこと、人と自然の関わり、地域の歴史文化について教えていただく機会も増えました。

養沢地区の横根道は、生活道として使っていた昔道（ガスがなかった時代に燃料として森に薪を拾いに行っていた道、広い道路や橋がなかった時代に市場に買い物に行った道、隣町にサーカスを見に行っていた道、好きな子に会いに行っていた道）

たくさん思い出や歴史が詰まった道です。地域の方によって復活した横根道には、今、多くのハイカーが訪れるとともに、あきる野の子どもたちが自然や歴史文化を学ぶ場として利用しています。

森林レンジャーの他の活動としては、自然環境資源の発掘調査や動植物の調査を続けています。調査は地道な活動ですが、継続していく中で地域を取り巻く環境と人との関わり方が見えてきます。自然へのアプローチ（理解する、守る、活かす）には、継続した調査が基本となります。巡視、危険木や倒木の処理では、登山者が安全に散策できるルートを維持しています。

自然体験活動では、多くの方が自然と触れ合える場づくりと、自然が好きだから守りたい、と感じるきっかけが得られる活動をしています。先日、森の子コレンジャーの第1期生が最終

回を迎えました。コレンジャー活動の目的は“郷土愛や自然愛を持った人材を育むこと”です。学校も学年も個性もバラバラな仲間が、共に自然の中で遊び学び、たくさんさんの“好き”を作りました。足元の自然と仲間を好きになることで、色々な可能性が生まれると信じています。

今年度も、森林レンジャーが得てきた経験や地域との協働を基点として、森づくり活動を継続していきます！（加瀬沢）



養沢の7人衆  
“横根道を歩いてみんべー！”